# レッサータロットで断ち札トリテ

Trick Taking Game "Trump Breaker" for LesserTarot

人数：3〜5人
時間：30〜60分
年齢：10才以上

ゲーム創作者：フェスカ・つじむら
ルール発行者：按理具庵
発行日：2026年10月18日
正式版： 2026.09.17 Rev. 100

## 概要

標準ポーカーを改良するためにレッサータロットと云うカード構成を再発明しました。(4+1)スートの構成が似ているのでタロットの名を冠しています。タロットは元はトリックテイキング（以下「トリテ」と省略）ゲーム用のカードであったことはあまり知られていません。

この再発明したレッサータロットでトリテをしたらどうなるかと考えるのは必然です。新たな追加札は少ない枚数なので「切り札」に勝てる特殊な強い札として扱うとして「断ち札」と命名しました。

### レッサータロット54の構成

| | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| スペード | 2♠ | 3♠ | 4♠ | 5♠ | 6♠ | 7♠ | 8♠ | 9♠ | 10♠ | J♠ | Q♠ | K♠ |
| ハート | 2♥ | 3♥ | 4♥ | 5♥ | 6♥ | 7♥ | 8♥ | 9♥ | 10♥ | J♥ | Q♥ | K♥ |
| クラブ | 2♣ | 3♣ | 4♣ | 5♣ | 6♣ | 7♣ | 8♣ | 9♣ | 10♣ | J♣ | Q♣ | K♣ |
| ダイヤ | 2♦ | 3♦ | 4♦ | 5♦ | 6♦ | 7♦ | 8♦ | 9♦ | 10♦ | J♦ | Q♦ | K♦ |

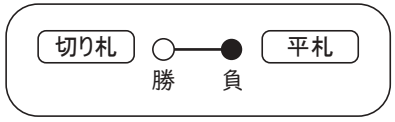
エクストラ（追加札） Joker Joker A♦ A♣ A♥ A♠

{ ＝ Ex } A(エース)札4枚とJoker(ジョーカー)2枚の計6枚を無スート無ランクの特殊な同一の追加札とみなす

## 基本構造

### 従来のトリテ

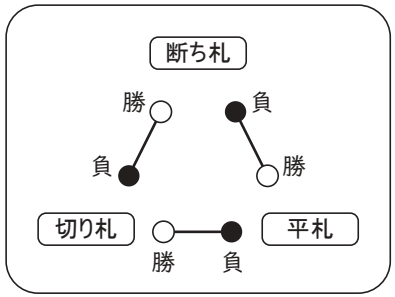
切り札はリードスート札より強いと云う単純構造




### 断ち札トリテ

断ち札は切り札に勝つがリードスートの平札に負ける三角関係の構造

断ち札は場に切り札が在ると最強となるが、無いと最弱となって平札に負ける。
ただし複数枚の断ち札が出ると対消滅して場に無いことになって負ける。




## 経緯の詳細

標準ポーカー役の改良のためにジョーカー2枚とエース4枚を追加の特殊札とみなす**レッサータロット54**の構成を発明しました。

レッサー(lesser)はレッサーパンダとジャイアントパンダ（いわゆる白黒柄の大熊猫）の関係と同じく、従来の大きな78枚構成のタロットに対して、「**より小さい**」の意味を込めて名付けました。

元となるタロットは今では占い用途で認知されていますが、実はトリックテイキングゲーム史上の革命ともいえる「切り札」ルールの発明と共に生まれた（4+1）スートのゲーム用カードなのです。

切り札専用の追加カードは標準4スートとは全く別の切り札スートとして扱われているので（4+1）スートと表現しています。一時期は普及したのですが、後に「4つある標準スートの1つを切り札スートとみなして扱う」と云う破壊的な革新ルールの発明によりゲーム用タロットカードは廃れてしまいました。（後に占い用カードとして復活）

タロットの追加札は22枚であり、標準スートのランク数(R=14枚)より多い枚数であったのに対し、レッサータロットでは追加札の枚数は、このRより少ないことが特徴であり、さらにタロットの追加札にはあった独自のランクがレッサータロットでは無いことも特徴です。

正にゲーム用タロット構成の再発明なのですが、現在は標準の「みなし切り札」のルールはそのままに、新たに追加する札を超（スーパー）切り札として、従来の切り札に勝てるように考えたのがレッサータロットのトリテです。 ただし単純に切り札に勝てる最強札とするのでは面白くないので特殊な制限を加味することでゲームバランスを調整します。

切り札は英語でトランプ(Trump)ですので、新たに追加する札は「抗トランプ」の意味でアンチトランプ(Anti-Trump)になりますが、「切り札」と云うすばらしい意訳に対応させて和名を「**断ち札**」と呼ぶことにします。

この「断ち札」を使うトリテなのでゲームとしての名前は「断ち札トリテ」として、これから英語に逆意訳して“Trump Breaker”（切り札を壊す者）としました。

## カード構成

### LesserTarot60_S4R13B6E2

| | A | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | J | Q | K | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ♠ | | | | | | | | | | | | | | 52枚 |
| ♥ | | | | | | | | | | | | | | |
| ♣ | | | | | | | | | | | | | | |
| ♦ | | | | | | | | | | | | | | |

断ち札 Breaker 6枚　逃げ札 Excuse 2枚

(52+2)枚の標準トランプ構成に新たに6枚の「**断ち札**」を加えた**60枚**構成をトリテ用の標準レッサータロット構成とする。
断ち札6枚はポーカー用が元であるが、4人制で配ってほぼ各1枚が割り当てられる枚数として適切な枚数である。
また60枚は3〜6人で均等配りできる最適な枚数のため採用した。
ジョーカー2枚は逃げ札として割り付ける。

### LesserTarot52_S4R12B4

| | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | J | Q | K | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ♠ | | | | | | | | | | | | | 48枚 |
| ♥ | | | | | | | | | | | | | |
| ♣ | | | | | | | | | | | | | |
| ♦ | | | | | | | | | | | | | |

断ち札 Breaker 4枚　Ace(エース)札4枚を断ち札とみなす

S4R12B4の**52枚**構成をトリテ用の暫定の構成とする。主流のトリテが4人制であるので、配り切り可能な52枚と同じとする。断ち札はA札の4枚のみとなる。

Copyright 2026 Anriguan LLC

## 断ち札

断ち札は無条件でいつでも出せる。

場に切り札があるとき、断ち札は切り札に勝つ。ただし場に複数枚の断ち札が出たときは、断ち札は全て対消滅して切り札側が勝つ。

場に切り札が1枚も出ていなければ、断ち札はリードスート札に負ける。

マストフォローに従って手札にリードスートがあれば、その札を出さなければならないのがトリテの標準的ルールでゲームの大原則である。

断ち札はランクの無い「ゆるい化け札（スートワイルドカード）※」の扱いとするので、手札にある断ち札はリードスートに化けて出すことができるし、他のスートに化けているとすれば出さない選択もできる。

断ち札をリードする場合は化け札（任意のスートとみなせる）扱いなので、次の手番の人はどのスートを出してもよい。実質的にそのスートがリードスートになる。2番手以降の人が続けて断ち札を出すことも可能だが複数枚の断ち札が出ることで負けが確定する。リードスートは断ち札を出したその次の人が決めることになる。もし全員が断ち札を出したら、リードスート不定のままとなり、そのトリックは勝者無しとする。札は獲得できないし獲得トリック数にもカウントされない。ただし次のトリックのリード権は継続してリードプレイヤーが得る。

※「ゆるい化け札」の意味は手札に在る内は持ち主が自由にスートを決められるということ。ちなみに「きつい化け札」は反対に自由に決められないこと。例えば「きつい化け札」なら必ずリードスートとみなされてフォローの対象になる。

| | | |
|---|---|---|
| 断ち札 (Braker) | ★ □□□□ | 断ち札は固定で枚数が少ない。 |
| 切り札 (Trump) | ◆ □□□□□□□□□□□□ | 切り札は4つのスートから1つ適切な方法で選び決められる。 |
| 平札 (plain suits) (Normal) | ○ □□□□□□□□□□□□<br>△ □□□□□□□□□□□□<br>□ □□□□□□□□□□□□ | 平札（ひらふだ）は切り札に指定されなかった残りの3スートの札である。 |
| 逃げ札 (Excuse) | ☆ □□ | 逃げ札はいつでも出せるが必ず負ける。 |

## 逃げ札

逃げ札は断ち札と同じく「ゆるい化け札」の扱いで、マストフォローに従わずいつでも自由に出せる。しかしながらトリックには必ず負ける。
逃げ札をリードした場合は、手番が次の人が出した札がリードスートとなる。1人だけ逃げ札を出し、残り全員が断ち札を出した場合は逃げ札のみが残って、唯一の例外でトリックに勝つことができる。
場に逃げ札が複数枚出ると対消滅する。

| 平札 | 切り札 | 断ち札 | 勝 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| ○ | ○ | − | 切り札 | 通常のトリテと同じ |
| ○ | − | ○ | 平札 | 切り札無しで断ち札は最弱 |
| − | ○ | ○単 | 断ち札 | 切り札有りで断ち札は最強 |
| ○ | ○ | ○単 | 断ち札 | |
| − | ○ | ○複 | 切り札 | 断ち札が複数枚で対消滅（存在しない扱い） |
| ○ | ○ | ○複 | 切り札 | |

## 比較表～切り札と断ち札の違い～

| | 切り札 | 断ち札 |
|---|---|---|
| スート | 有り（切り札スート） | 無し（ワイルドスート扱い） |
| ランク | 有り（大きい数が強い） | 無し（同一扱い） |
| 種別の強さ | リードスート札に勝つ<br>断ち札に負ける | 切り札に勝つ<br>リードスート札に負ける |
| 同種複数枚 | ランクの高い方が勝ち | 対消滅して共倒れ負け |
| リード出し | 手札に全スートが揃っていると出せない（独自ルール） | いつでも出せるが、リードスートは次の人が決める |
| フォロー | リードスート札があれば切り札は出せない<br>切り札のリードには、切り札があれば必ず出す | リードが何であっても断ち札を出す・出さないは自由に選べる<br>（逃げ札と同じ） |

## 切り札スートの決め方

既存トリテのルールに従って適切に決めればよい。
ここでは簡単な方法でありながら、多人数制トリテにも対応でき、表示札があって初心者でも分かり易く、手札情報の一部が公開されて高度な心理戦が楽しめる方法として、以下を推奨としておく。

**入札多数決方式（親決めと表示札）**

(1)全員が手札から切り札にしたいスートの札を1枚選び**伏せて出す**。
(2)同時に表に開いてスート毎の**枚数を比較**する。
(3)**最も多いスート**を切り札スートと決める。最初の親（オープニングリード）はその中で最もランクの高い人とする。

スート枚数が同じで多数派が決まらないときは、同数最多の中で最もランクの高い人のスートを切り札スートとする。さらに最高ランクも同じ場合は、その中でよりディーラー（カードを配った人）に近い人（時計回り配りで先に配られた人）の出した札を切り札スートとする。最初の親は切り札に決まった札を出した人とする。

親は切り札スート**表示札**として、その札を**表向きに出したまま**とする。この札は手札に同スートの札が残っている間は使用できない。他の人は出した札を手札に戻す。

## 配り枚数

各人に均等に配ります。配り残った余り札は、(a)伏せたまま未使用とする、(b)公開して未使用とする、(c)親の交換札とする などのバリエーションが考えられます。ゲーム開始前に協議して取り決めます。

協議のない場合の標準ルールは、(a)の非公開で未使用 とします。

標準60枚構成

| 人数 | 配り枚数 | 残数 |
|---|---|---|
| 3人 | 20枚 | 0枚 |
| 4人 | 15枚 | 0枚 |
| 5人 | 12枚 | 0枚 |

暫定52枚構成

| 人数 | 配り枚数 | 残数 |
|---|---|---|
| 3人 | 17枚 | 1枚 |
| 4人 | 13枚 | 0枚 |
| 5人 | 10枚 | 2枚 |

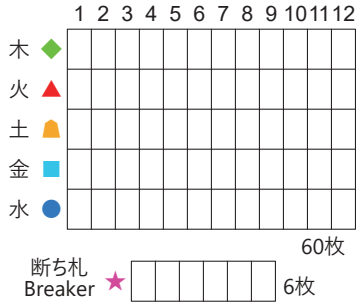
## ゲームの勝者

獲得トリック数の最も多い人を勝者とする。
獲得トリック数が同数の場合は、その中で切り札の枚数が一番多い人を勝者とする。切り札の枚数も同数なら、その中で断ち札の枚数が最も多い人を勝者とする。さらに断ち札の枚数も同じ場合は、その中で最も後の回にトリックを取った人を勝者とする。

## その他のカード構成

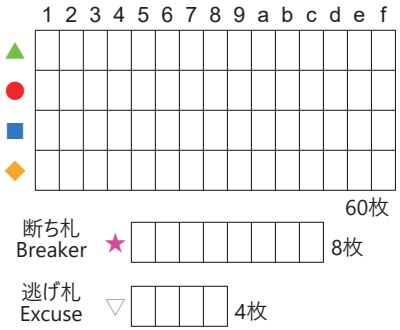
レッサータロットの構成は（4+1）スートで追加札の枚数が少ないことが特徴ですが、より一般化して（5+1）スートや（6+1）スートの構成も拡張版のレッサータロット構成とします。
陰陽五行札FESCAは五行札の部分が5スート構成であり、断ち札とする追加札に空無札と太極札が使えます。
基本4スート構成であってもランク数を増やし総枚数を多くして多人数（5～8人）制対応の拡張デッキが考えられます。ゲーム用のタロットカード78枚に断ち札を追加する拡張タロット構成もあり得ます。

### LesserTarot66_S4R12B6



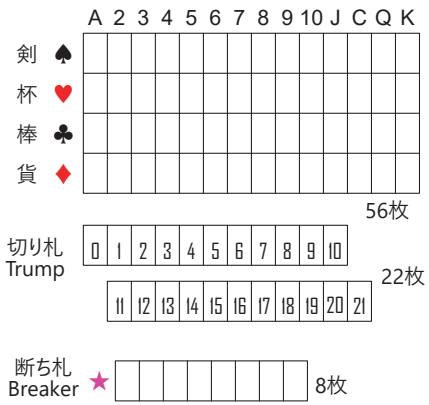

陰陽五行札FESCAを用いた構成で、全78枚から陰陽札12枚を除いた66枚を使用する。
五行札を5つの標準スート札とし、空無札5枚と太極札1枚を合わせて6枚を断ち札とする。
逃げ札は無しとする。
参加人数に配り切りで余った札は非公開の未使用とする。

### LesserTarot72_S4R15B8E4




4スート15ランク構成で16進数のランク表記された拡張トランプ様式のカードデッキで、4つのスートは基本図形と色で表示される。
この60枚構成に断ち札8枚と逃げ札4枚を加えた72枚の構成を大レッサータロットと呼ぶ。
5人制と7人制で余りが出るが非公開の未使用札とする。

### LesserTarot86_S4R14T22B8




標準タロット78枚に断ち札8枚を加えて拡張タロット86枚構成とする。
5～7人の多人数制トリテ用で、固定の切り札があるタロットの特徴から名前は単純に大タロットとする。
切り札のランク0は逃げ札として扱う。
参加人数に配り切りで余った札は非公開の未使用とする。

Copyright 2026 Anriguan LLC

# ジャンケントリテ

Trick Taking Game "JANKEN TORITE"

人数：3～5人
時間：30～60分
年齢：10才以上

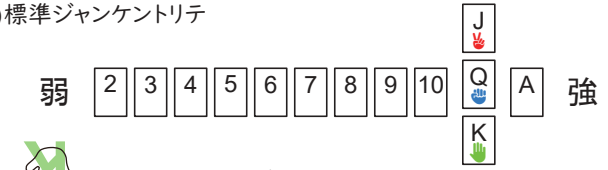
ゲーム創作者：フェスカ・つじむら
ルール発行者：按理具庵
発行日：2026年10月18日
暫定版：2026.08.04 Rev. 0.10

過去作品にゲーマージャンケンの要素を取り入れたゲンジャントリテがあります。これは切り札にグー・チョキー・パーの3種の循環ランク構造を設けたトリテです。後にトランプを用い、絵札を切り札とするコートタロットでJ（チョキ），Q（グー），K（パー）と割り付けて遊ぶことを考えました。

**ジャンケントリテ**は単純に各スート毎にJ・Q・Kにジャンケンの循環ランクを付けただけのトリテです。リードスートまたは切り札スートのみがランク勝負に関わるため、割り付けたジャンケン手は同じ手が重なることがありません。すなわち同スートで同じ手のあいこが発生しないため、単純なジャンケン勝負になります。J・Q・Kの3手が出揃う三すくみのあいこは起こり得ますが、この場合は引き分け共倒れ負けとして、その他の札でランク勝負判定とします。A札の扱いで異なるジャンケントリテが考えられます。

(1)A札を最強ランクとして扱う。（標準的なトリテでの扱い）
(2)A札を最強ランクとするが、ランク2に負ける下剋上を適用する。
(3)A札を最弱のランク1として扱う。またはA札4枚を未使用とする。
(4)A札をジャンケンの手に組み入れる。

### (1)標準ジャンケントリテ




J<Q<K<(J)

### (2)下剋上ジャンケントリテ

| A | 2 | 他 | 勝 | |
|---|---|---|---|---|
| − | ○ | ○ | 他 | Aが出てなければ2は最弱 |
| ○ | − | ○ | A | 2が出てなければAが最強 |
| ○ | ○ | − | 2 | |
| ○ | ○ | ○ | 2 | 2とAが出揃えば2が勝ち |

2<他<A<(2)

### (4)アドバンス・ジャンケントリテ（四手ジャンケントリテ）

| J | Q | K | A | 勝 | |
|---|---|---|---|---|---|
| ○ | ○ | − | − | Q | |
| ○ | − | ○ | − | J | Aが出なければ通常のジャンケン判定 |
| − | ○ | ○ | − | K | |
| ○ | ○ | − | ○ | Q | |
| ○ | − | ○ | ○ | J | ジャンケン手2つならAよりJ・Q・K側が強く通常のジャンケン判定 |
| − | ○ | ○ | ○ | K | |
| ○ | − | − | ○ | A | |
| − | ○ | − | ○ | A | ジャンケン手1つならAが強くて勝ち |
| − | − | ○ | ○ | A | |
| ○ | ○ | ○ | ○ | A | ジャンケン手3つならAが勝ち |
| ○ | ○ | ○ | − | 他 | ジャンケン手三すくみは共倒れ |